

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

# CASBEE札幌



## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2016v1.0 使用評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	北酒販札幌広域物流センター	階数	2
建設地	北海道札幌市東区東雁来町157-2の内,158-2の内(14街区 符号2-1の内)	構造	S造
用途地域	市街化区域,準工業地域,防火地域指定なし,特別工業地区,東雁来第二地区,景観計画区域	平均居住人員	20人
建物用途	工場	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
竣工年	2018年9月 予定	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	2,361 m <sup>2</sup>	評価の実施日	2018年8月1日
建築面積	1,412 m <sup>2</sup>	作成者	
延床面積	2,650 m <sup>2</sup>	確認日	2018年2月1日
		確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)								
<p><b>BEE = 0.5</b> ★★☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆</p> <p><b>標準計算</b></p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>100%</td> </tr> </table> <p>0 46 92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	100%	③上記+②以外の	100%	④上記+	100%	
①参照値	100%									
②建築物の取組み	100%									
③上記+②以外の	100%									
④上記+	100%									

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア= 2.2</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア= 2.8</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア= 2.2</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> Q3のスコア= 1.8</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア= 2.6</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア= 2.1</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア= 3.1</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア= 2.6</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>作業効率を考慮した物流倉庫</p>	<p><b>A 省エネルギー</b></p> <p>特になし</p>	
<p><b>B 省資源等</b></p> <p>特になし</p>	<p><b>C 緑化</b></p> <p>札幌市緑の保全と創出に関する条例の遵守</p>	<p><b>D 雪処理</b></p> <p>特になし</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.3)  
北酒販札幌広域物流センター

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2016v1.0  
欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.3)

スコアシート		実施設計段階		建物全体-共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.2</b>
<b>Q1 室内環境</b>					0.30			<b>2.8</b>
<b>1 音環境</b>								
1.1 室内騒音レベル								
1.2 遮音								
1 開口部遮音性能								
2 界壁遮音性能								
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音								
<b>2 温熱環境</b>				3.0	0.41			3.0
2.1 室温制御				3.0	0.63			
1 室温				3.0	0.50			
2 外皮性能								
3 ゾーン別制御性				3.0	0.50			
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式				3.0	0.38			
<b>3 光・視環境</b>				1.7	0.29			1.7
3.1 昼光利用				3.0	0.30			
1 昼光率								
2 方位別開口								
3 昼光利用設備				3.0	1.00			
3.2 グレア対策				1.0	0.30			
1 昼光制御				1.0	1.00			
2 映り込み対策								
3.3 照度				2.0	0.15			
3.4 照明制御				1.0	0.25			
<b>4 空気質環境</b>				3.6	0.29			3.6
4.1 発生源対策								
1 化学汚染物質								
4.2 換気				4.0	0.60			
1 換気量				5.0	0.50			
2 自然換気性能								
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50			
4.3 運用管理				3.0	0.40			
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	1.00			
2 喫煙の制御								

Q2 サービス性能			—	0.30	-	-	2.2
<b>1 機能性</b>			<b>1.3</b>	0.40		-	<b>1.3</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>			<b>1.0</b>	0.40		-	
1	広さ・収納性		-	-		-	
2	高度情報通信設備対応		1.0	1.00		-	
3	バリアフリー計画		-	-		-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>			<b>1.0</b>	0.30		-	
1	広さ感・景観 (天井高)		-	-		-	
2	リフレッシュスペース		-	-		-	
3	内装計画		1.0	1.00		-	
<b>1.3 維持管理</b>			<b>2.0</b>	0.30		-	
1	維持管理に配慮した設計		2.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保		2.0	0.50		-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>			<b>2.6</b>	0.30		-	<b>2.6</b>
<b>2.1 耐震・免震・制震・制振</b>			-	-		-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		-	-		-	
2	免震・制震・制振性能		-	-		-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>			<b>3.0</b>	0.60		-	
1	躯体材料の耐用年数		-	-		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	-	-		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	-	-		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	3.0	0.20		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	3.0	0.40		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	3.0	0.40		-	
<b>2.4 信頼性</b>			<b>2.2</b>	0.40		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		1.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		1.0	0.20		-	

<b>3 対応性・更新性</b>				<b>3.2</b>	0.30		-	3.2
<b>3.1 空間のゆとり</b>				-	-		-	
1 階高のゆとり				-	-		-	
2 空間の形状・自由さ				-	-		-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>				-	-		-	
<b>3.3 設備の更新性</b>				<b>3.2</b>	1.00		-	
1 空調配管の更新性				3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			空調設備、換気設備のバックアップ機器を設置するスペースが十分にある。	4.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.40		-	1.8
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		<b>緑化</b>		2.0	0.30		-	2.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		<b>緑化</b>		2.0	0.40		-	2.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				1.5	0.30		-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		<b>雪処理</b>		2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		<b>省資源 緑化</b>		1.0	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-		-	2.6
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40		-	2.1
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		<b>省エネ</b>			-		-	-
<b>2 自然エネルギー利用</b>		<b>省エネ</b>		3.0	0.17		-	3.0
<b>3 設備システムの高効率化</b>		<b>省エネ</b>	[BEI][BEIm] = 1.00	2.0	0.83		-	2.0
<b>4 効率的運用</b>				-	-		-	-
集合住宅以外の評価				-	-		-	-
4.1 モニタリング		<b>省エネ</b>		-	-		-	-
4.2 運用管理体制		<b>省エネ</b>		-	-		-	-
集合住宅の評価					-		-	-
4.1 モニタリング		<b>省エネ</b>			-		-	-
4.2 運用管理体制		<b>省エネ</b>			-		-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30		-	3.1
<b>1 水資源保護</b>				3.0	0.20		-	3.0
1.1 節水				-	-		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	1.00		-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30		-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>				2.8	0.60		-	2.8
2.1 材料使用量の削減		<b>省資源</b>		2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		<b>省資源</b>		3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		<b>省資源</b>	-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		<b>省資源</b>	-	1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		<b>省資源</b>		2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		<b>省資源</b>	仕上げ材はすべて乾式工法とし、容易に分別可能。構造体はRC部分を除きユニット化して容易に分解して再利用可能。	5.0	0.20		-	

<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			4.3	0.20		-	4.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		仕様材料はすべてF☆☆☆☆として有害物質を含まない材料としている	5.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		-	
1 消火剤	省資源		-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)	省資源	発泡剤にハイドロフルオロレフィン(HFO)を使用した断熱材を使用	5.0	0.50		-	
3 冷媒	省資源		3.0	0.50		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30		-	2.6
1 地球温暖化への配慮	省資源		3.0	0.33		-	3.0
2 地域環境への配慮			2.2	0.33		-	2.2
2.1 大気汚染防止	省資源		3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 熱化 蓄処理		2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.0	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減	省資源		2.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制			2.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 蓄処理		1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33		-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	0.33		-	
2 振動			3.0	0.33		-	
3 悪臭			3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制				-		-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70		-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	

Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency

# CASBEE札幌



## 重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.3)

<b>1 建物概要</b>				BEE	0.5	BEEランク	B <sup>-</sup>
建物名称	北酒販札幌広域物流センター						
建物用途	工場						
延床面積	2,650.2	m <sup>2</sup>					

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	<b>最重点項目</b> <b>省エネルギー</b>	★★★★☆	<p>省エネルギー性能</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>雪処理</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下                  ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下                  ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下                  ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下                  ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★★★☆☆	
	雪処理	★☆☆☆☆	

3. 重点項目のCASBEEスコア										
<b>A 省エネルギー</b>		(	最高点	22.6	最低点	6.4	)	<b>合計</b>	<b>9.8点</b>	／22.6点
Q1 温熱環境	スコア	0.0	／0.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	0.0	／0.0			
Q1 光・視環境	スコア	1.1	／2.6	LR1 自然エネルギー利用	スコア	2.0	／3.3			
				LR1 設備システムの高効率化	スコア	6.7	／16.7			
				LR1 効率的運用	スコア	0.0	／0.0			
<b>B 省資源等</b>		(	最高点	26.0	最低点	8.7	)	<b>合計</b>	<b>13.9点</b>	／26.0点
Q2 耐用性・信頼性	スコア	1.6	／2.7	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.0	／9.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.6	／3.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.7	／1.9			
				LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.0	／5.0			
				LR3 地域環境への配慮	スコア	2.0	／4.4			
<b>C 緑化</b>		(	最高点	19.5	最低点	3.9	)	<b>合計</b>	<b>7.2点</b>	／19.5点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	2.4	／6.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0	／2.5			
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	3.2	／8.0							
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.6	／3.0							
<b>D 雪処理</b>		(	最高点	3.0	最低点	0	)	<b>合計</b>	<b>0.0点</b>	／3.0点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0	／1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.0	／2.0			

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■重点項目の**最高点**は、各評価項目で**レベル5**で評価された場合の点数  
 ■重点項目の**最低点**は、各評価項目で**レベル1**で評価された場合の点数